

《参考資料》【イメージと動きの例】

身近な生活編

- ・洗濯物が激しく洗われる
- ・車の洗車ブラシ
- ・ポップコーンが作られる
- ・お腹に強力なウイルスが侵入！
- ・お湯が激しく沸騰する
- ・急激な冷凍！カチン！
- ・線香花火の一生
- ・デコボコ道を走り激しく揺れる車



大変だ！○○

自然・社会編

- ・激しい火山の爆発
- ・雷が落ちて感電した！
- ・台風で激しく飛ばされる
- ・船が嵐で転覆しそうだ！
- ・天井が降りてきた！！
- ・ブレーキがきかなくなった
- ・おもちゃのゼンマイが壊れた
- ・猛烈サラリーマン



群が生きる内容編

- ・スポーツの激しい攻防や決定的瞬間
- ・次々打ち上がる花火
- ・朝のラッシュアワー
- ・バーゲンセール ・白熱するケンカみこし
- ・勢力を増していく大型台風
- ・酸性雨で溶けていく森林
- ・スキューバダイビング中に大きな渦に巻き込まれる



【「線香花火の一生」の例】

<はじめ>

点火 静かな火の玉が  
少しずつはじけ出す

<なか>

全身が線香花火になって激しく  
はじけながら集まって一つの  
光になる

<おわり>

だんだん静かになっていき、  
最後はジュツと地面に落ちる

【单元後半の学習カードの例】

「大変だ！○○」学習カード

月 日 ( ) 時間目 年 組 名前 [ ]

◆グループ名とメンバー

◆「ひとまとまりの動き」のタイトル (表したいことが強調されたタイトルをつける)

◆「ひとまとまりの動き」の流れ

はじめ	なか	おわり

◆感想

第5学年及び第6学年 「フォークダンス」

# 簡単なフォークダンスを踊って交流しよう

## 1 授業の基本的な構想

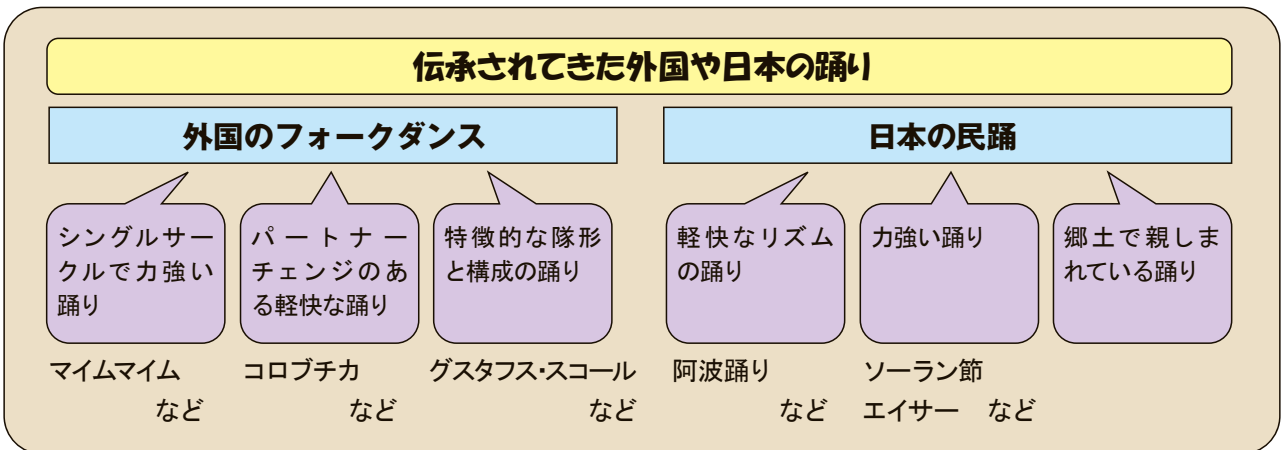
### (1) 授業のねらい

この単元は、高学年の児童が、簡単なフォークダンスを踊って交流することができるように想定しています。中学校、高等学校のフォークダンスの学習につながるよう、フォークダンスを易しく楽しく学習できるようにすることを目指します。

フォークダンスの学習では、外国のフォークダンスや日本の踊りで構成され、伝承された踊りを身に付けて、みんなで一緒に踊って交流することを楽しむことができるようにするとともに、踊りを通して世界の文化や日本の各地の文化に触れることができるようにすることが大切です。

外国のフォークダンスでは、シングルサークルで踊る力強い踊り、パートナーチェンジのある軽快な踊り、特徴的な隊形と構成の踊りなどを取り上げ、日本の民踊では、日本の代表的な踊りや郷土の踊りで、軽快なリズムの踊りや力強い踊りを取り上げるようにします。

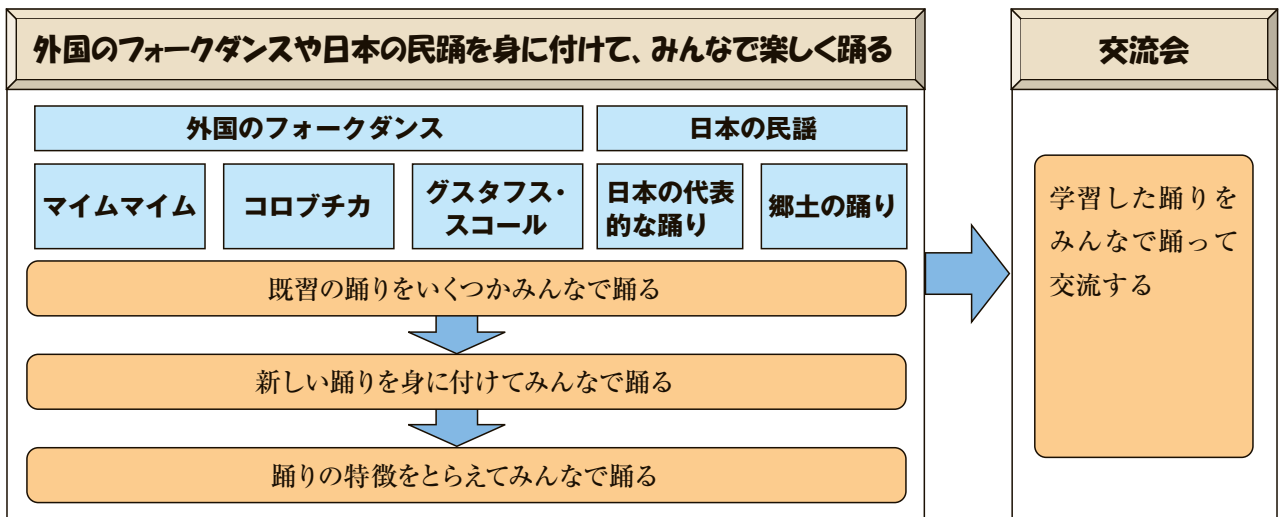
### 《どんな踊りを・どんな動きで》



### (2) 授業づくりの考え方

フォークダンスの授業では、伝承されてきた踊りを身に付けてそのダンスの特徴を出してみんなで踊ることが中心です。本単元では、単元前半では外国のフォークダンスを、単元後半では日本の代表的な民踊を取り上げます。1時間の流れとしては、最初に既習の踊りをみんなで踊り、次に、新しい踊りを身に付けてみんなで踊った後に、踊りの特徴をとらえてみんなで踊るようにします。単元の最後には、学習した踊りをみんなで踊って交流し、学習のまとめとします。

### 《どのように学習を進めるのか》



## 2 単元の目標

- (1) 外国のフォークダンスや日本の代表的な民踊について踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることができるようにする。 (技能)
- (2) フォークダンスに進んで取り組み、互いのよさを認め合い、助け合って練習や交流をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。 (態度)
- (3) 課題の解決の仕方や自分やグループのよさを知るとともに、自分やグループの課題に応じて動きをよりよくしたり、自分やグループのよさを生かしたりすることができるようにする。 (思考・判断)

## 3 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外国のフォークダンスや日本の民踊について、踊りの特徴を捉えて踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、フォークダンスに進んで取り組もうとしている。</li> <li>●約束を守り、友達と助け合って練習や発表をしようとしている。</li> <li>●運動する場の安全を保持することに気を配ろうとしたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題の解決の仕方を知るとともに、自分やグループの課題に応じて動きをよりよくしている。</li> <li>●自分やグループのよさを知るとともに、練習や交流会で自分やグループのよさを生かしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外国のフォークダンスや日本の民踊について、踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることができる。</li> </ul>
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>①フォークダンスに進んで取り組もうとしている。</li> <li>②互いのよさを認め合い、助け合って練習や交流をしようとしている。</li> <li>③練習などの場の安全に気を配ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分やグループの課題に応じた練習の仕方を選んでいる。</li> <li>②踊りの特徴の出し方を考えたり、交流の仕方を選んだり工夫したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①踊り方を身に付けて踊ることができる。</li> <li>②踊りの特徴をとらえて踊ることができる。</li> </ul>




エイサー（沖縄）を踊る



※この計画は、2年間の学習をまとめて行っている例である。第6学年に分けて行うこともできる。

フォークダンス 第5学年 (6時間)

日本の民踊を身に付けて、みんなで楽しく踊る。		交流会
日本の代表的な踊り	郷土の踊り	
		6
<p>・グスタフス・スコール など</p> <p>・阿波踊り など</p>		<p>1 心と体をほぐす。</p> <p>2 学習課題の確認。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習した踊りをメドレーで楽しもう。</p> </div> <div style="background-color: #fce4ec; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>3 学習した踊りを思い出しながら、メドレーで踊って交流する。</b></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の得意な踊り別グループを作り、踊り方を確認する。</li> <li>○苦手な踊り別グループを作り、得意な者にきてもらって練習タイムをとる。</li> <li>○踊りの特徴を意識しながら、メドレーで踊る。</li> </ul>
<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>阿波踊り</p> </div>	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>ソーラン節</p> </div>	
<p>★阿波踊りは、徳島城の落成を祝って城下の住民が踊った踊り。</p> <p>★男踊りと女踊りの特徴の違いを出して踊る。</p>	<p>★北海道の日本海沿岸でのニシン漁の際に唄われた唄が発祥元</p> <p>★漁師たちの力強く躍動感あふれる姿をイメージして踊る。</p>	
<p>けた時点で通して踊るようにする。</p>		
		<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>ソーラン節は力強さを出して踊ろう。</p> </div>
		 <p>阿波踊り (女踊り)</p>
		 <p>阿波踊り (男踊り)</p>
		<p>4 感想を出し合い、単元のまとめをする。</p>
	<p>② (観察・学習カード)</p>	
<p>① (観察)</p>		<p>② (観察)</p>

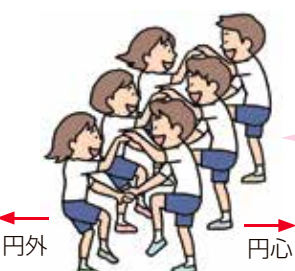
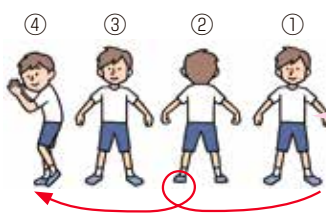
5 本時の目標と展開

【第5学年「フォークダンス -コロボチカ-」 2/6時間】

(1) 本時の目標

- コロボチカの踊り方を身に付け、踊りの特徴を捉えて踊ることができるようにする。 (技能)
- 互いのよさを認め合い、助け合って練習や交流をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。 (態度)
- 自分やグループの課題に応じた練習の仕方を選ぶことができるようにする。 (思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動への態度を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)
はじめ 10分	1 心と体をほぐす。 ・列になってジェンカを踊る。 ・円形になって簡単な動きで踊る。  2 本時の学習課題を確認する。 コロボチカの踊り方を身に付けて、みんなで楽しく踊ろう。	・列になってジェンカを踊ったり、円形になって簡単な動きでみんなで踊ったりして、心と体をほぐすことができるようにする。  ・本時に取り上げるコロボチカの由来を簡単に説明し、踊りに興味や関心を持てるようにする。
なか 30分	3 前時に習った「マイム・マイム」をみんなで踊って交流する。  4 本時の踊りの「コロボチカ」を大づかみに身に付けて踊る。  5 「コロボチカ」の特徴をとらえてみんなで踊る。  	・前時に踊った「マイム・マイム」をみんなで踊ることで、既習のダンスをくり返し踊ることができるようにする。  ・新しい踊りを身に付けていく時には、全体を四つくらいに分けて覚えていき、踊りを大づかみに覚えた時点で通して踊るようにする。  コロボチカは、パートナーと軽快に踊る楽しい踊りです。笑顔で踊りましょう。  パートナーチェンジのところをスムーズに行って、次の踊りの一歩目をそろえよう。  少し時間をとるので、コロボチカのパートナーの動きをペアごとに練習してみましょう。
まとめ 5分	6 新しく身に付けた踊りの総踊りをし、学習のまとめをする。	・全体で踊るところと、部分練習をするところをバランスよく入れていくようにする。  ☆互いのよさを認め合い、協力して練習や交流をしている。 【運動への態度②】 (観察・学習カード)  ・新しい踊りを踊って、みんなで楽しく交流できたかを振り返り、学習カードに記入する。

《参考資料》【心や体もほぐす導入における活動の工夫例】



フォークダンスでは、円形になったり、ペアになったり、手をつないだりすることが多く、最初のほぐしの運動で、誰とでも気持ちよく活動できる雰囲気をつくるのが大切です。

〈ジェンカ〉

古くからフィンランドで伝承されてきている民族舞踊。前の人の肩に両手を置いて列になって踊る簡単な踊り。



〈円形ダンス〉

手をつないで一重円になり、軽快なリズムの曲に合わせて、弾んだり、スキップしたり、回ったりする。



【学習カードの例】

「みんなでフォークダンス！」学習カード

月 日 ( ) 時間目 年 組 名前 [ ]

◆今日の踊り

◆グループごとの練習で気をつけたことや工夫したこと

◆学習を振り返って ◎…大変よくできた ○…よくできた △…もう少し

☆フォークダンスを進んで楽しむことができた。	
☆今日の踊りを正しく覚えて踊ることができた。	
☆今日の踊りの特徴を出して踊ることができた。	
☆友達と協力して練習したり、気持ちを合わせて踊ったりすることができた。	

◆感想